

# 第1回定例町議会

平成28年3月10日「第1回奥尻町議会定例会」が開  
会され、1名の議員から一般質問がありましたので、  
その質疑応答の概要について紹介します。

## 一般質問

### 漁業の実態と

### 放流・養殖対策について



工藤 勇 議員

#### 質問

近年不漁のイカ漁、ホッ  
ケ漁の代替漁業、代替収入  
源をどのようにシフトする  
のか。また、地域漁業振興  
緊急対策事業の実証につい  
ての進捗状況と課題への取  
り組みやウニ、ホタテ養殖  
事業への助成と事業継続の  
準備等、ウニ、ホタテ養殖  
の先進地視察など研修助成

の考えはあるか。

特定魚種のブランド化や  
活締め技術の研修会等の漁  
協の取り組み状況及びそれ  
ら付加価値を高めることに  
ついて取り組み考えはある  
か。

地元の水産物を新鮮な  
まま消費地へ送るため、  
シャーベットアイスやシル  
クアイスの保冷技術が進ん  
できているが、キヤス冷蔵  
も含め近い将来、施設導入  
について考えはあるか、質  
問します。

高価格で販売  
できる体制を

新村 卓実 町長

#### 答弁

代替収入源は、ウニ漁業  
の採捕期間の延長や採捕量  
のアップ、アワビ漁業では  
高価格で販売できる体制な  
どの推進を考えている。地  
域漁業振興緊急対策事業は  
現在、籠の設置が終わり育  
成中である。課題は餌の確  
保、生産後の販売方法など  
である。

養殖業者への補助継続に  
ついては、自己負担の半額  
の支援を提案している。  
研修費助成については補  
助事業を活用していきたい。  
付加価値の取り組みは講  
師の招へいや講習会を開催  
することを推進していく。  
新しい保冷技術の導入は  
地方創生加速化交付金を活  
用し導入に向け要望する。

# 療養病床実態と

## 今後の影響について

工藤 勇議員

### 質問

医療の必要性の低い高齢者の社会的入院が問題となつている「療養病床」を国は全国で14万床廃止すると発表し、新たに「医療内包型」と「医療外付型」という施設を設けるとのことである。

檜山圏域や奥尻町の財政事情や医療需要を考えると非常に困難さを覚えるものであります。

現段階での町長の認識、檜山圏域の調整会議で議論されている内容、また、町長は先の質問に対して「社会的入院者の受け入れ施設

は満床状態で受け皿にはならない、医療・介護の連携を強化し、在宅生活を支援していきたい」と答弁していますが、現在の取り組み状況をお聞きしたい。

動向を見ながら検討したい

新村 卓実 町長

### 答弁

「医療内包型」と「医療外付型」という施設に現有の病床を転換することが出来るかなどの施設基準や医療給付なのかなどの費用負担など、具体的な内容は、今後の動向を見守つていきたいと考えています。また、檜山圏域調整会議の状況ですが、昨年10月より5回の会議を経て3月下旬に檜山圏域として最終案をとりまとめる予定となっております。

次に、すべての町村は平成30年4月までに在宅医療と介護との連携に係る事業の取り組みを求められています。

高齢者が住み慣れた地域で暮らすためには、どのような支援・サービスが必要か、病院・特養・社協などがどのように連携すべきか、奥尻町なりの連携システムのあり方を検討しています。

### 議会運営委員会

【3月4日】

3月10日に開会する第1回定例会の議事運営について審議しました。

同委員会は、会期について3月10日～14日までの5日間とすることに決定しました。

【3月14日】

3月14日午前まで開会予定の予算審査特別委員会が、早く終了したため、第1回定例会の繰り上げ開会を決定しました。

議会は町政と皆さんをつなぐパイプです。

議会を傍聴してみませんか